

開催概要

名称	IAMAS 2015 Graduation and Project Research Exhibition 情報科学芸術大学院大学 第13期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会
会期	2015年2月19日(木)～2月22日(日) 10:00～18:00(初日のみ 13:00～18:00)
会場	ソフトピアジャパン・センタービル 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7 入場無料
URL	http://www.iamas.ac.jp/exhibit15/
主催	情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

お問い合わせ先

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
〒503-0006
岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7
TEL : 0584-75-6600
FAX : 0584-75-6637
URL : <http://www.iamas.ac.jp/>
Mail : event@ml.iamas.ac.jp

このたび、情報科学芸術大学院大学（IAMAS イアマス）は「IAMAS 2015」と題して、修了研究発表会および2014年度のプロジェクト研究発表会を開催します。

2015年は映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』で描かれた「未来」であり、また、ソ連のアレクセイ・レオーノフ中佐が人類初の宇宙遊泳をしてから50年後の世界でもあります。当時描かれた「未来」と照らし合わせると、表現すること、モノを作ること、働くこと、遊ぶこと、生きること、様々な面で差異を感じるのではないのでしょうか。

IAMASの活動のフィールドも幅広く変化をみせています。デザインやアート、情報科学を中心に、それに留まらない多彩なバックグラウンドを持つ人材が参集した本学は、開学から18年を過ぎた領家町キャンパスを後にし、ソフトピアジャパンに移転しました。環境の変化を肌で感じながら、表現や先端技術について学び、互いに刺激し合うことで生み出された発想と、その集大成として制作した研究作品の数々を発表します。

さらに、教員、学生がともに学内外で活動する複数のプロジェクトにおいてもIAMASの活動のフィールドは広がっています。「IAMAS 2015」は、それらプロジェクトの研究成果も展示します。次なる「未来」に踏み出した「IAMAS 2015」をぜひお楽しみ下さい。

IAMAS 2015 実行委員長 石川 琢也

IAMAS とは



情報科学芸術大学院大学（Institute of Advanced Media Arts and Sciences）は英語の略称をとってIAMAS（イアマス）と呼ばれ、親しまれています。

IAMASは先端的技術と芸術的創造との融合を理念に掲げ、新しい文化を発信する教育機関として、また情報社会の中での新しい表現者の養成拠点として開学しました。



以来、メディア文化・産業の広汎な分野で活躍する人材を数多く輩出し、国内外から高い評価を得ています。社会や時代の変化と共に本学の活動も多領域に渡ったものとなってきており、新しい仕組みや道具を生み出すインタラクティブデザインやメディアプロダクト、新たな表現を創造するメディアアート、新しい社会のあり方を提案するソーシャルデザインなど、未知の領域を開拓する魅力に満ちています。そこには、新しいものを生み出したいという強い意志を持った、幅広い分野の経験や見識を持った多様な教員や学生が集い、お互いに触発し合うことで、現代社会における様々な物事に対して新たな挑戦をしています。多様な人々が深く関わり合いながら研究制作を行える場であるということそのものが、IAMASの非常に大きな魅力と言えます。

IAMASは平成26年4月にソフトピア地区へ移転しました。様々な組織や活動、情報などが集積する地において、より広範な活動が可能となり、また、地方都市におけるメディア表現の新しいあり方を実践していくという意味においても、新たなスタートとなりました。社会の変化と共にIAMASの活動の方向も拡大してきていますが、移転後もこれまでの研究制作環境を維持しながら、メディア表現の可能性を追求すると共に、学内のみならず外部ともより幅広く連携した活動ができるオープンなキャンパスとして、社会に成果を問いかけながら、新しい文化を発信し続ける大学院として発展してまいります。

IAMAS 2015は、昨年度と同様に、修了研究発表会と、教員・学生によるプロジェクトの研究発表会の同時開催となります。

プロジェクトは、メディア表現領域の社会的な意義をはかりながら、高度な研究成果や技術開発を目指して、領域横断的に運営される授業群です。今年はIAMASの研究活動の主幹として、15以上の多領域に渡るプロジェクト研究が活動しました。「IAMAS 2015」では修士研究発表に加えて、これらプロジェクト研究の成果を展示します。

《出展プロジェクト一覧》

アート・オブ・ライフ

アートを/で考える

ICT×C

あしたをプロトタイプングする

IAMAS 図書館

HD II

Craft,Fabrication and Sustainability

これからの創造のためのプラットフォーム

車輪の再発明

Smart Things

体験拡張インターフェイス

ちび電

福祉の技術

編纂

美濃のいえ

メディア・地域・鉄道

ものづくりオープンメソッド



Craft,Fabrication and Sustainability



メディア・地域・鉄道

《プロジェクト紹介タイムテーブル》

ご来場の皆さまにプロジェクトの研究成果についてより深くご理解いただけるよう、展示ツアーとコアタイムを設けています。

プロジェクト紹介コアタイム

プロジェクト担当の教員／学生が各展示場所にて、研究成果についてご説明します。

日時：期間中全日 2月19日（木）～2月22日（日）各14:00～15:30

※ プロジェクト展示は会期中いつでもご覧いただけます。

※ 会場エントランスに産官学連携ブースを設けております。これまでの連携事例のご紹介や連携の相談が可能です。

プロジェクト紹介ツアー

ツアー形式でそれぞれのプロジェクトの説明を受けながら展示会場を巡回します。

日時：2月19日（木）13:00～13:45 / 2月21日（土）・2月22日（日）14:00～15:00

場所：ソフトピアジャパン・センタービル 3Fソピアホールエントランス

開始時間の5分前までにお集まりください。（事前予約不要）

《お問い合わせ》

プロジェクト研究発表に関するお問い合わせはこちらへお願いします。

IAMAS産業文化研究センター（担当：高尾）

TEL : 0584-75-6606 E-mail : rcic@ml.iamas.ac.jp

さまざまな表現や先端技術を用いて、今年も既存の枠にとらわれないユニークな研究が誕生しました。IAMASでの2年間の集大成として、独自の発想によって生まれた修士作品の数々を展示・発表します。また、会場では修士論文もご覧いただけます。

プレゼンテーション

時間:2月21日(土) 12:30~13:00・13:00~13:30

場所:ソフトピアジャパン・センタービル 3Fソピアホール前 イベントスペース

修士作品パフォーマンス①

時間:2月21日(土) 16:30~17:00、2月22日(日) 13:30~16:00

場所:ソフトピアジャパン・センタービル 1Fセミナーホール

修士作品パフォーマンス②

時間:2月19日(木)~2月22日(日) 11:30~12:00・16:30~17:00

場所:ソフトピアジャパン・センタービル 3Fギャラリー1

《作品介绍》



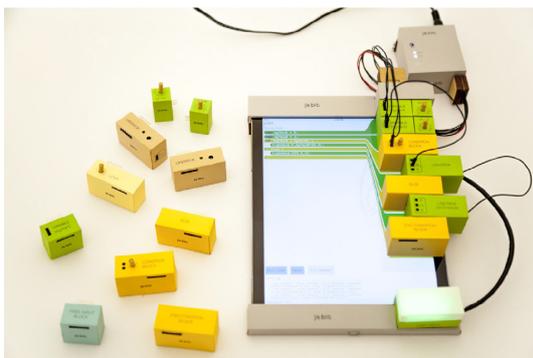
「森のむこう」と視覚 浅羽 昌二

「森のむこう」は六甲山上の樹木の中に設置された屋外作品です。鏡で覆われた巨大な壁のような構造体は複数の窓枠を持ち、向こう側と鏡に映るこちら側が合わさった不思議な視覚体験を観客に与えます。それは「映像を見る行為」の別の形です。本展ではアーカイブや模型などを通して作品を紹介します。



余白書店なかまプロジェクト 内田 聖良
・開店ツール1《手垢手帖》

書き込み、線、ヤケ、落丁、シミ等の「手垢」のついた、通常は価値が低いとされる「手垢本」を「パーソナライズされた価値ある本」としてAmazonを利用し流通させる『余白書店』プロジェクト。今回さらに、「手垢」データベースを作成し、誰でも『余白書店』の活動に参加可能になりました。



js.bit カンパーニャ・ロハス・ホセマリア

プログラミングの苦手なデザイナーの理解を支援する方法を探る研究です。調査を実施した後、プログラミングの要素をブロックに置き換えたデバイスを開発し利用する事としました。ブロックを並べ接続すると、ビジュアルな物理的要素と実際のプログラミング言語間の関係をディスプレイ上に表示する事ができます。



行為を誘発するデスク 富田 太基

機能性などの枠組みではなく、ものとそれを使用する行為から生まれる空間の意味を「空間の意思」と捉え、デスクの在り方や意味を考察します。そこからデスクの概念を拡張して、これまでとは異なるアイデアを創出することで、暮らしの中での生活行為を想像していくデザインプロセスを提案します。

その他、20作品出展致します。

2月19日(木)

13:00~13:30 **オープニングセレモニー**

13:30~15:00 **プレスアワー**

各展示作品に作者が待機し、取材に対応いたします。取材に際しては、ぜひこの時間にお越しください。

16:00~17:30 トークイベント『IAMAS/メディア表現の現在形』

IAMAS メディア表現研究科では今年度もさまざまな学生の問題意識や社会の課題から、アート、デザイン、ワークショップなどひとつのジャンルにとどまらない多様な研究が行われました。ICC主任学芸員の畠中実さんをゲストにお迎えしたこのトークイベントでは、展示作品の講評を通じて、IAMASさらにはメディア表現そのものの現在形について、批評的な観点から議論をおこないます。

登壇者：畠中実 (NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]主任学芸員)、城一裕 (IAMAS 講師)、水野雄太 (IAMAS 修士課程2年)

2月20日(金)

15:00~17:50 **IAMASONIC:ライブパフォーマンスイベント**

IAMAS在校生によるパフォーマンスイベントです。即興演奏、オーディオビジュアル、音響合成、自作楽器など出演者独自のスキルを活かし、様々な公演が行われます。

2月21日(土)

11:00~12:30 RCICトークイベント『『地域社会』としての私たち』

これまで地元企業や地域コミュニティと連携して、様々なプロジェクトを展開してきたIAMASは、来年開学20年を迎えようとしています。この大きな節目を前に、地域社会を外部的なものではなく私たちを内包する母体として捉えることで、土地固有の伝統や文化と関わりながら、人々がよりしなやかに生きていく方法について議論します。

登壇者：及川卓也 (マガジンハウス/LocalNetwork Magazine「コロカル」編集長)、会田大也 (東京大学 GCL 特任助教)、武藤勇 (N-mark主宰 インディペンデント・キュレーター)、金山智子 (IAMAS 産業文化研究センター長)

13:30~15:30 トークイベント

これからの創造のためのプラットフォームアーサー・ビナード講演@IAMAS
『えをかくかくかく!ー今を生きるために欠かせないもの』

「えをかくことそれは のびのびといきることだ」 -- 自身が翻訳した画家エリック・カールの絵本『えをかくかくかく』(偕成社)を起点に、アートと社会のつながり、そして現代を生き抜くための実践について、詩人アーサー・ビナードが語ります。

18:00~20:00 **ウェルカムパーティー** (参加費:3000円)

来場者の皆様とIAMASの学生・教員との親睦を深めるためのウェルカムパーティーを開催いたします。飲み物と軽食を用意してお待ちしておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

2月22日(日)

15:30~17:30 トークイベント『活動の生態系』

ゲスト：馬定延 (研究者)、ドミニク・チェン (起業家/研究者)、exonemo 千房けん輔 (アーティスト)

テクノロジーの発展はアートやデザインの可能性を大きく変えました。しかし、社会の中の言説や制度は、その未来を描けているでしょうか。インターネット元年から20年が経ったいま、“アート”と“システム”それぞれの活動の生態系が有機的に結びつくことの可能性を考えるトークイベントです。



馬定延



ドミニク・チェン
「photo by
新津保建秀」



exonemo 千房けん輔
「photo by
nonoko kameyama」

18:00~18:30 **クロージングセレモニー**

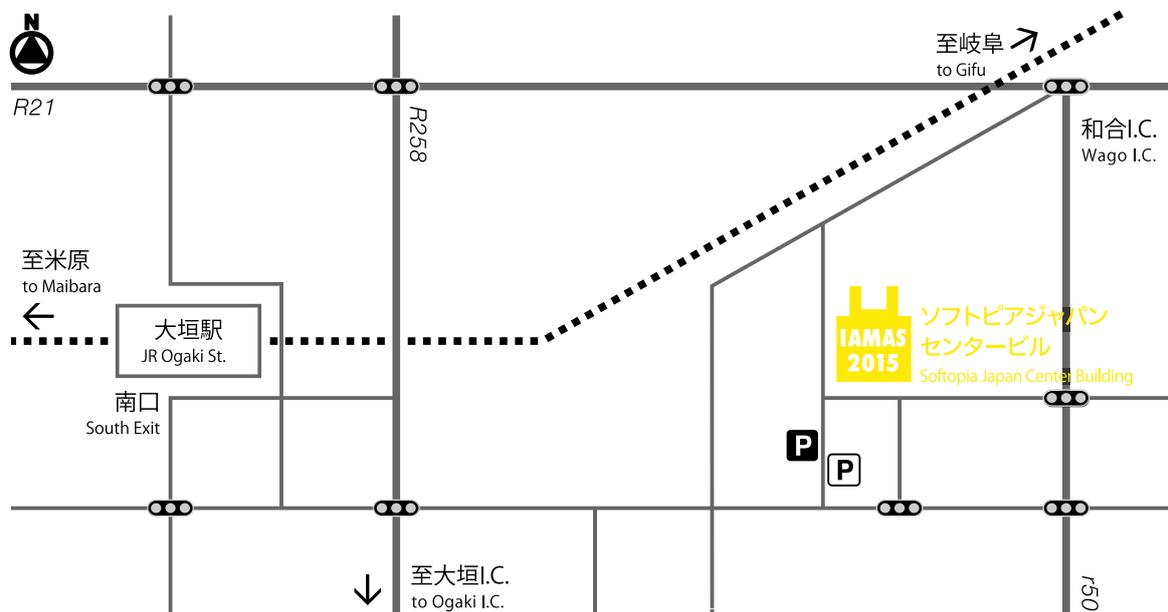
期間中全日 (初日は13:00~18:00)

10:00~18:00 **いあます Coffee Shop**

10:00~18:00 **進学相談** (随時受付)

アクセス

ソフトピアジャパン・センタービル | 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7 | 0584-77-1111



《お車でお越しの方》

国道21号線 : 和合ICから車で約2分
名神高速道路: 大垣ICから車で約20分
岐阜羽島ICから車で約25分

駐車場について

- P** 土日のみ利用可 (無料)
- P** 全日利用可 (無料)

《公共交通機関でお越しの方》

東京方面から

東京 - 名古屋 : 新幹線100分
名古屋 - 大垣 : JR東海道本線・新快速30分

大阪方面から

新大阪 - 米原 : 新幹線40分
米原 - 大垣 : JR東海道本線30分

大垣駅から

タクシー : JR大垣駅南口から 約10分
バス : 名阪近鉄バス (大垣駅南口3番のりば 羽島線・ソフトピア線ソフトピア方面行きソフトピアジャパン下車) 約10分